

スタンダード検査血液学 第4版 第2刷:修正箇所一覧

該当箇所	修正前	修正後
頁: x x iii 写真23	t(8;21)(q22;q22)	t(8;21)(q22;q 22.1)
頁: x x iv 写真30	t(9;22)(q34;q11.2)	t(9;22)(q 34.1 ;q11.2)
頁:5 参考文献	認定血液・骨髄検査技師 制度協議会 認定血液・骨 髄検査技師制度 jslh.kenkyuukai.jp…(後略)	認定血液 検査技師 ・骨髄検 査技師制度協議会 認定血 液 検査技師 ・骨髄検査技師 制度 規則 (URL削除)
頁:8 表1-1 年	2019~2020	2019~
頁:56 上から5行目	転写因子NF-E2は,	転写因子NF-E2の p45サブユニット は,
頁:56 上から6~7行目	…過程を制御していること から, 大型化した巨核球が 蓄積する他に, 胞体突起 形成は全く認められず…	…過程を制御している ⁴⁾ とされ, NF-E2を欠損したマウスは巨核球 が存在するにもかかわらず致死性 出血を伴う重篤な血小板減少症を 示す. endomitosisは正常にもかか わらず細胞質内顆粒数の劇的な 減少, 胞体突起の形成不全は全く 認められず…
頁:67~75 Bすべて	t-PA u-PA	tPA uPA
頁:101 右段落, 上から 4行目	…異なるため, パルスの 大きさは細胞の大きさを反 映…	…異なるため, 細胞の大きさを反 映…
頁:148 右段落, 下から 7行目	ヘモシデリン	ヘモ ジ デリン
頁:150 左段落, 上から 4行目	ヘモシデリン	ヘモ ジ デリン
頁:151	(坂場幸治・玉井誠一)	(坂場幸治・ 三鍋慎也 ・玉井誠一)

左段落, 著者名		
頁:209 右段落, 下から 5行目	…サブセット検査は経過観察および治療効果判定に…	…サブセット検査は 治療効果判定および経過観察 に…
頁:217 図4-61	A群 B群 C群 D群 E群 F群 G群	A群 (1~3番) B群 (4~5番) C群 (6~12番) D群 (13~15番) E群 (16~18番) F群 (19~20番) G群 (21~22番)
頁:217 右段落, 下から 3行目	…G ₀ 期に留まっている, …	…G ₀ 期に留まっている 細胞が , …
頁:229 下から8行目	…非特異エステラーゼ染色…	…非特異 的 エステラーゼ染色…
頁:230 表5-1 表内すべて	t(8;21)(q22;q22) t(9;11)(p22;q23) t(6;9)(p23;q34) t(9;22)(q34;q11.2)	t(8;21)(q22;q 22.1) t(9;11)(p 21.3 ;q 23.3) t(6;9)(p23;q 34.1) t(9;22)(q 34.1 ;q11.2)
頁:230 表5-1 1. の7行目	…MYH11, t(15;17)(q22;q12); PML-RARAのいずれかの…	…MYH11, PML-RARA のいずれかの…
頁:230 表5-1 2. の4行目	特に, 単球系白血病はしばしばMPO陰性となることに留意が必要である.	小型~中型でN/C比の高い芽球の場合, ALL/LBLの可能性を考える.
頁:230 表5-1 2. の6行目	細胞質内MPO陽性:FAB分類M0と…	細胞質内MPO陽性 かつ単球系の分化を認めない場合 : FAB分類M0と…
頁:230 表5-1 2. の7行目	CD19陽性, 細胞質内CD79aやCD22が陽性:B-ALL/LBLと考えられる	CD19陽性, 細胞質内CD79aや 細胞質内CD22のいずれかが強陽性または複数のマーカーが陽性 : B-ALL/LBLが考えられる. CD10陽性であることが多い.
頁:230	…T-ALL/LBLと考えられ	…T-ALL/LBLと考えられる.

表5-1 2. の8行目	る	TdTが陽性であることが多い。
頁:230 表5-1 2. の9行目	上記抗原がすべて陰性で 単球系が疑われる場合… (中略)…(CD11c, CD14, CD64)を追加…	単球系が疑われる場合…(中 略)…(CD11c, CD14, CD64 など)を追加…
頁:230 表5-1 2. の13行目	…非特異エステラーゼ染 色…	…非特異的エステラーゼ染色 …
頁:231 表5-2 上から1行目	急性骨髄性白血病(AML) …(中略)…3%以上*	急性骨髄性白血病(AML)… (中略)…3%以上* ¹
頁:231 表5-2 上から9行目	M5…(中略)…非特異エス テラーゼ…	M5…(中略)…非特異的エス テラーゼ…
頁:231 表5-2 上から14行目	※ANCの80%以上が赤芽 球…(中略)…となる。	※ANCの80%以上が赤芽球 …(中略)…となる* ² 。
頁:231 表5-2 脚注	* ただし, M0, M7は…	* ¹ ただし, M0, M7は… * ² オリジナルのFAB分類に はM6bの記載がないが, 一般 に流布していることから本章 ではFAB分類M6bと記載す る。
頁:232~233 表5-3 表内すべて	t(8;21)(q22;q22) t(9;11)(p22;q23) t(6;9)(p23;q34) inv(3)(q21q26.2) t(3;3)(q21;q26.2) t(1;22)(p13;q13) t(9;22)(q34;q11.2) t(v;11q23) t(12;21)(p13;q22); ETV6-RUNX1を伴う… t(5;14)(q31;q32)	t(8;21)(q22;q22.1) t(9;11)(p21.3;q23.3) t(6;9)(p23;q34.1) inv(3)(q21.3q26.2) t(3;3)(q21.3;q26.2) t(1;22)(p13.3;q13.3) t(9;22)(q34.1;q11.2) t(v;11q23.3) t(12;21)(p13.2;q22.1); TEL-AML1 (ETV6-RUNX1)を伴う… t(5;14)(q31.1;q32.3)
頁:235	赤芽球系白血病の分類に	赤芽球系白血病の分類は,

上から8～10行目	については、WHO分類第4版(2008年) ²⁾ まではFAB分類の定義が使用されていたが、WHO分類第4版改訂版(WHO分類2017) ⁵⁾ では用いられなくなった。	WHO分類第4版(2008年) ²⁾ とWHO分類第4版改訂版(WHO分類2017) ⁵⁾ では異なる(詳細は後述)。
頁:236 図5-3	t(8;21)(q22;q22)	t(8;21)(q22;q 22.1)
頁:237 下から2行目	t(8;21)(q22;q22)	t(8;21)(q22;q 22.1)
頁:238 図5-10	t(9;22)(q34;q11.2)	t(9;22)(q 34.1 ;q11.2)
頁:240 下から12行目	① MDSで“RSの増加”と判断…(中略)…2017)	<MDSで“RSの増加”と判断…(中略)…2017)。>
頁:242 (6)1～6行目	…変更された。細胞系統を判断するマーカー…(中略)…用いる必要はない。	…変更された。 複数の細胞系統のマーカーが陽性の場合、混合表現型急性白血病(mixed phenotype acute leukemia: MPAL)の可能性がある。MPALを診断する際は、WHO分類2017の「MPALの細胞系統同定のための基準」⁵⁾が用いられることが多いが、MPAL以外の急性白血病(AMLやALL)を診断する際は、これらを厳密に満たす必要はないと考えられる。
頁:242 (7)2行目	…確定的な疾患単位…	… 正式 な疾患単位…
頁:319 下から12行目	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	びまん性 大型 B細胞リンパ腫
頁:320 表5-40 上から3行目	複数例で見られる遺伝子異常を伴うBリンパ芽球性白血病/リンパ腫	特定の 遺伝子異常を伴うBリンパ芽球性白血病/リンパ腫
頁:320 表5-40	骨孤在性形質細胞腫	孤在性骨 形質細胞腫

下から14行目		
頁:321 表5-40 表内すべて	大細胞型B細胞リンパ腫	大型 B細胞リンパ腫
頁:321 表5-40 下から6行目	T細胞大顆粒リンパ球性白血病	T細胞 大型 顆粒リンパ球性白血病
頁:322 表5-40 上から12行目	胃腸管緩徐進行性T細胞リンパ増殖異常症	緩徐進行性胃腸管 T細胞リンパ増殖異常症
頁:322 表5-40 下から8行目	乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫	乳房インプラント関連未分化 大細胞 リンパ腫
頁:322 表5-40 脚注追加		日本リンパ網内系学会推奨訳による.
頁:327 下から3行目	… <i>CCDN1</i> 異常, ALK…	… <i>CCND1</i> 異常, ALK…
頁:330 表5-46 右段	<i>CCDN1/BCL1</i>	<i>CCND1/BCL1</i>
頁:334 f. すべて	大細胞型B細胞リンパ腫	大型 B 細胞リンパ腫
頁:341 参考文献の6)	…臨床検査のガイドライン JSML2018 … (中略) … pp.435~442, 宇宙堂八木書店, 2018.	…臨床検査のガイドライン JSML 2021 …(中略)…pp. 432~439 , 宇宙堂八木書店, 2021 .
頁:363 上から22行目	…CD55, 59陰性血球のFCMで検出…	…CD55, 59陰性血球 を FCMで検出…
頁:441 上から4行目	…輸血副作用である. …	…輸血副 反応 である. …
頁:444 上から10行目	…ほぼ同じメカニズムの反応によって, …	…ほぼ同じ メカニズム によって, …
頁:445 Eの④ 2行目	…ニューモシチス, 抗酸菌などの日和見…	…ニューモシチス, 非定型 抗酸菌などの日和見…
頁:449 Bの10~11行目	…溶血性輸血副作用に関与…	…溶血性輸血 反応 に関与…

頁:450 Cの2～3行目	…溶血性輸血副作用を未然に…	…溶血性輸血 反応 を未然に…
頁:452 Eの3～8行目	輸血療法の実施に関する指針 http://www.mhlw.go.jp/file …(中略)…576.pdf 血液製剤の使用指針 http://www.mhlw.go.jp/file …(中略)…115.pdf	輸血療法の実施に関する指針(令和2年3月) http://www.mhlw.go.jp/content/11127000/000619338.pdf 血液製剤の使用指針(平成31年3月) http://www.mhlw.go.jp/content/11127000/000493546.pdf
頁:453 Fのすべて	副作用	副 反応
頁:453 参考文献	1)…に関する指針. 2014. 2)…使用指針. 2017.	1)…に関する指針. 2020 . 2)…使用指針. 2019 .